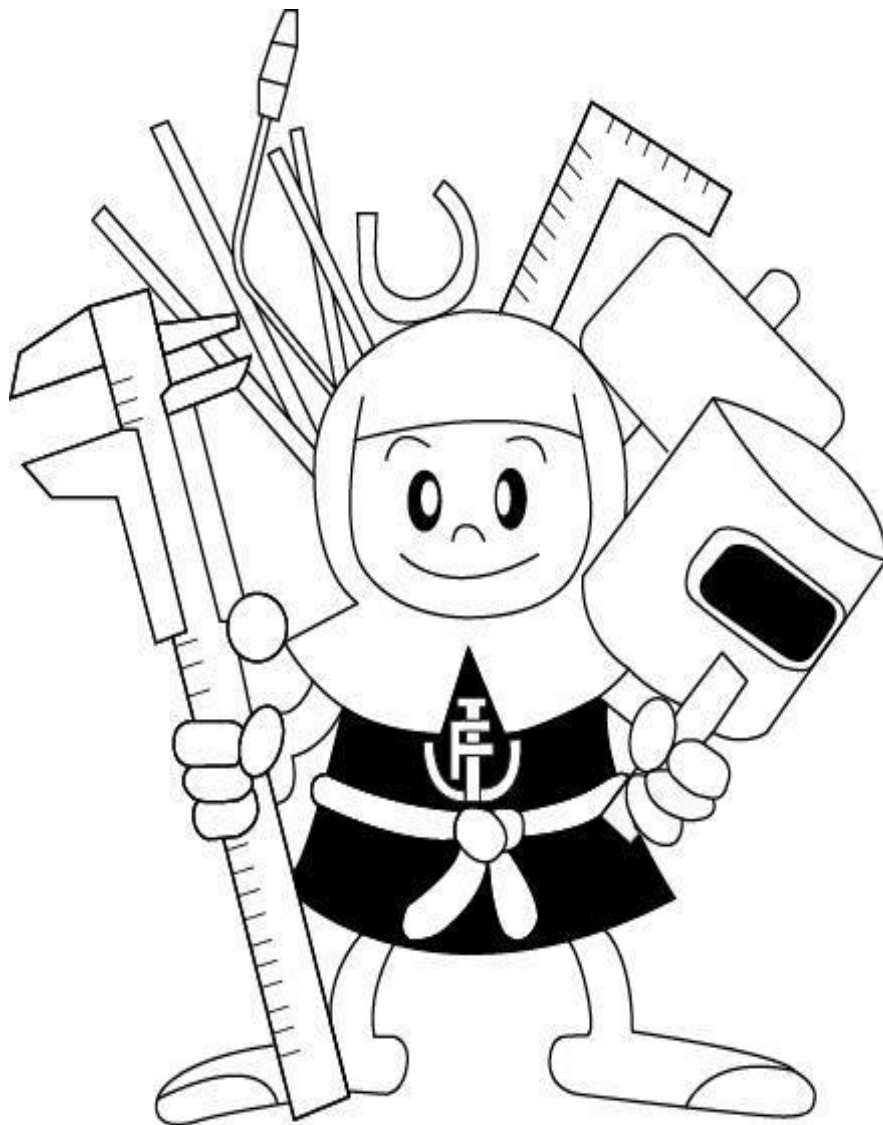


株式会社 フジムラ

2024年度環境経営レポート

(対象期間: 2023年10月1日 ~ 2024年9月30日)



作成日 : 2024年12月10日
更新日 : 2025年1月7日

□ごあいさつ

2009年6月に、エコアクション21認定取得いたしました。

フジムラは、社会発展の一翼を担う使命を持ち、社会から選ばれ「あてにされる企業」になる為に、環境を長期的に考えた企業風土づくりをしております。

地球環境を考える企業、その考え方を家庭に持ち帰り、社会に還元させていきます。環境を日常生活の中から普遍的にとらえ、企業のあるべき姿の構築に社員一丸となり取り組んでいます。

3S活動とISO（品質マネジメント）を両輪に、環境を視野に入れた経営活動の出来る企業を構築し、ネットワークを存分に活用して、地域と共に歩んでいきます。

株式会社 フジムラ

代表取締役社長 橋本 秀一

環境経営方針

〈環境理念〉

当社は、製缶業としてのものづくりを通じて「社会発展の一翼を担います」と経営理念に掲げております。社会発展とは、経済のみならず環境への配慮も視野に入れ、安全安心を追求し環境活動に自主的・積極的に取り組みます。

〈環境保全への行動指針〉

1. 次の事項について環境目標・活動計画を定め、継続的な改善に努めます。

①二酸化炭素排出量の削減(低炭素社会への対応)

- ・電力(工場、事務所)
- ・自動車燃料(営業車、トラック)

②廃棄物の削減及び再資源化の推進(循環型社会への対応)

- ・一般廃棄物(可燃ごみ)
- ・不良による金属くず

③排水量の削減(水資源の保全)

- ・一般水道水

④製品への環境配慮

- ・品質管理と連動した取組

⑤塗料及び酸洗い材の適正管理

2. 地域での美化活動を推進します。

3. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。

4. 環境への取り組みを環境活動レポートとしてとりまとめ公表します。

制定日：2008年10月14日

改定日：2018年10月1日

代表取締役社長 橋本 秀一

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社 フジムラ

代表取締役社長 橋本 秀一

2024年6月より会長就任

森 綾子

2024年6月より社長就任

(2) 所在地

本 社 大阪府大阪市住之江区北加賀屋4-4-20

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 香山 攻明

TEL:090-4282-2389

担当者 香山 攻明

TEL:090-4282-2389

(4) 事業内容

製缶品の製造

(5) 事業の規模

製品出荷額 5.1 億円

	本社
従業員 (名)	8
延べ床面積 (㎡)	1000

(6) 事業年度

10月1日～9月30日

□認証・登録の対象組織・活動

登録事業者名： 株式会社 フジムラ

対象事業所： 本社

対象外： なし

(全社認証登録範囲)

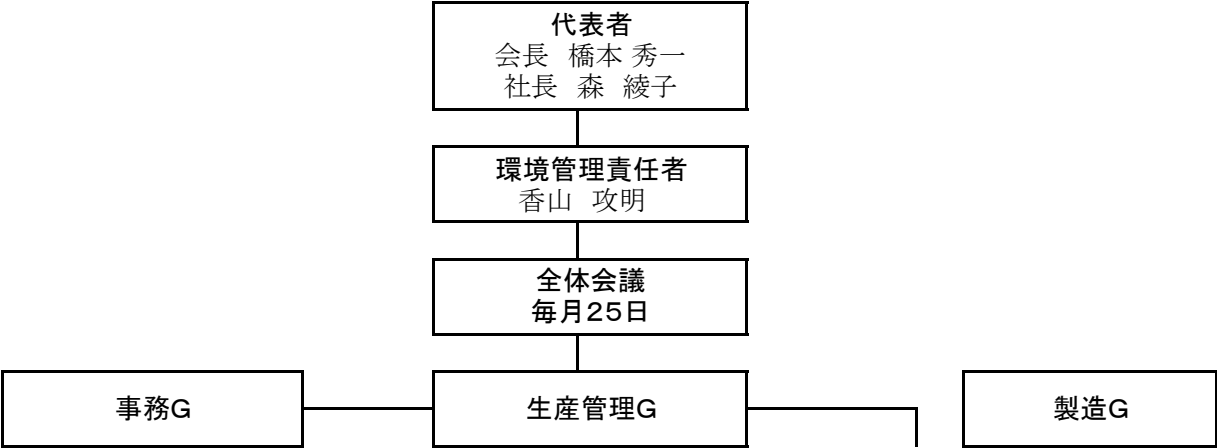
活動： 製缶品の製造



□実施体制

更新日：2024年9月30日

環境経営システム組織図



環境経営システム 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者 (社長:橋本秀一)	・環境経営に関する統括責任。 ・環境経営システムの実施に必要な。人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備。 ・環境管理責任者を任命。 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標・環境活動計画書を承認。 ・代表者による全体の評価と見直しを実施。 ・環境活動レポートの承認。
環境活動責任者 (香山 攻明)	・環境経営システムの構築、実施、管理。、 ・環境関連法規等の取りまとめ票を作成・承認。 ・環境目標、環境活動計画書を作成・確認。 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告・ ・環境活動レポートの確認。
環境事務局 (香山 攻明)	・EA21推進委員会の事務局。 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施。 ・環境活動の実績集計。 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施。 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口。 ・環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
全体会議 (EA21推進会議)	・環境目標・計画の審議 ・環境活動の評価
部門長 (生産管理G:森 弘史) (製造G:仲谷 英三郎) (事務G:橋本 綾子)	・自部門における環境経営システムの実施。 ・自部門における環境方針の周知。 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告。 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 ・テスト、訓練を実施、記録の作成。 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施。
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。



□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2022年	2023年	2024年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	53,178	64,439	63,072
廃棄物排出量	kg	4,340	3,560	3,160
一般廃棄物排出量	kg	2,330	2,340	2,120
産業廃棄物排出量	kg	2,010	1,220	1,040
総排水量	m ³	540	578	589

※電力の二酸化炭素排出量換算値 0.351 kg-CO₂/kWh (2022年度より令和4年度)

□環境目標及びその実績

項 目	年 度	基準値 (基準年度)	2024年		評価	2025年 (目標)	2026年 (目標)
			(目標)	(実績)			
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂ 基準年比	21,194 2011年	20,982 99%	28,173 133%	×	13,776 65%	13,776 65%
売上当たり原単位		2.08	2.06	1.56	○		
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂ 基準年比	18,798 2023年	18,610 99%	34,326 183%	×	18,234 97%	18,234 97%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	39,993	39,593	62,498	-	32,011	32,011
一般廃棄物の削減	kg 基準年比	2,330 2011年	2,307 99%	2,120 91%	○	1,631 70%	1,631 70%
金属くずの削減	kg 基準年比	2,010 2012年	1,709 85%	1,040 52%	○	1,709 85%	1,709 85%
水道水の削減	m ³ 基準年比	540 2017年	535 99%	589 109%	×	486 90%	486 90%
塗料シンナー及び酸洗い材の適正管理	活動目標		事故ゼロ、作業取扱い				
製品への環境配慮・社会貢献	活動目標		ミスロスの削減、3S活動(ISO9001で管理)				

※金属くずは売却分を対象(廃プラは少量で一般廃棄物として処理)

※二酸化炭素換算係数は 0.351 kg-CO₂/kWhを使用(令和4年度)

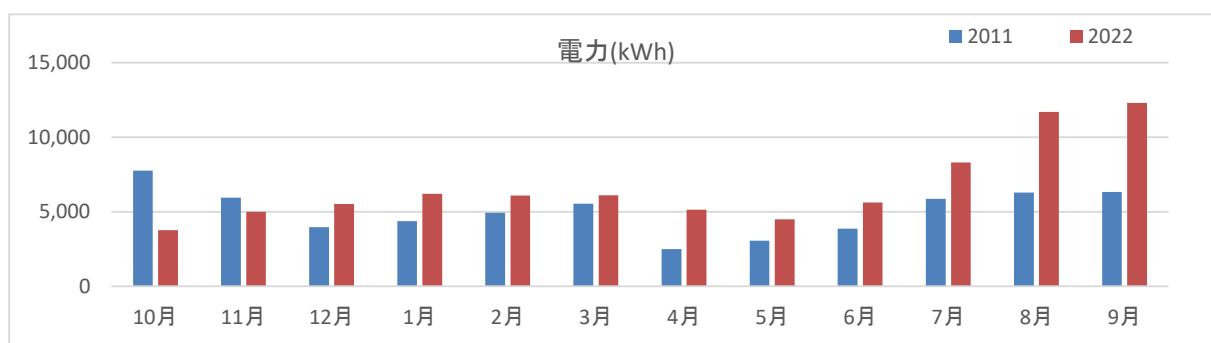
※都市ガスは少量のため目標としていない。

□環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

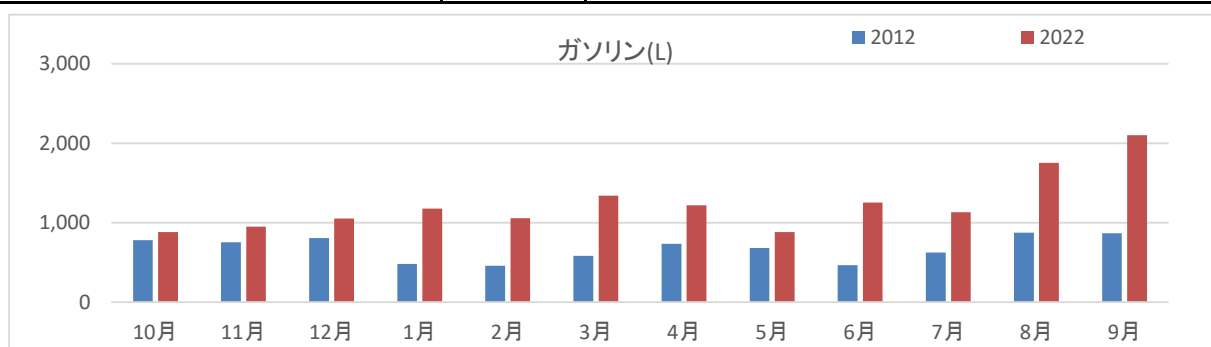
数値目標: ○達成 ×未達成

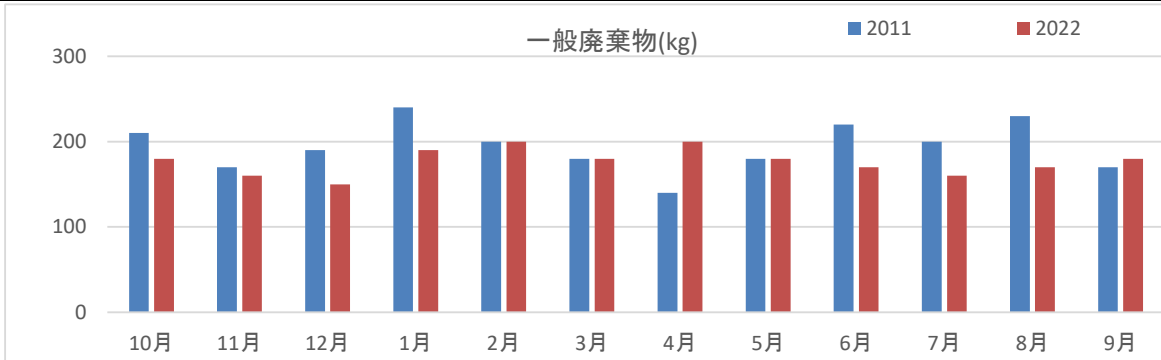
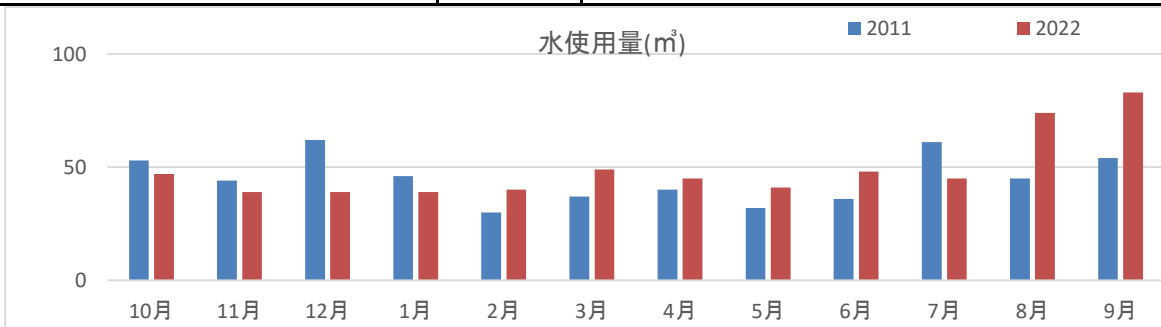
活動: ○よくできた △あまりできなかった ×できなかった

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
電力による二酸化炭素削減		
数値目標	×	仕事量が約80%増加したこともあり電力使用量が多くなった。しかし、売上高原単位では改善している。次年度も効率的な仕事を行い、できるだけ残業時間を削減するように努力をしていきます。
原単位評価	○	
・空調温度の適正化（冷房28℃ 暖房20℃）	△	
・不要照明の消灯	○	
・省エネルギー型設備を積極的に導入	○	
・工程ロス削減による稼働時間短縮	△	
・デマンド値の設定の検討	×	



自動車燃料による二酸化炭素削減		
数値目標	×	仕事量が約80%増加したこともあり自動車の使用量が多くなったことが原因です。次年度もエコドライブに努力をしていきます。
・アイドリングストップ	○	
・急加速・急停車の防止	○	
・通勤時のバイク・自転車利用	○	
・配送の効率化	△	



一般廃棄物の削減																																									
数値目標	○	目標を達成することができました。仕事が増加によって増えましたが、分別の徹底で削減できたと思われます。次年度も努力を継続します。																																							
・分別の徹底	△																																								
・裏紙使用	○																																								
・ダンボール、新聞紙などのリサイクル	○																																								
・マイハシ・マイカップの使用	△																																								
・納入時のパレット・木材などの再利用	○																																								
一般廃棄物(kg) ■ 2011 ■ 2022 <table><thead><tr><th>月</th><th>2011 (kg)</th><th>2022 (kg)</th></tr></thead><tbody><tr><td>10月</td><td>210</td><td>180</td></tr><tr><td>11月</td><td>170</td><td>160</td></tr><tr><td>12月</td><td>190</td><td>150</td></tr><tr><td>1月</td><td>240</td><td>190</td></tr><tr><td>2月</td><td>200</td><td>200</td></tr><tr><td>3月</td><td>180</td><td>180</td></tr><tr><td>4月</td><td>140</td><td>200</td></tr><tr><td>5月</td><td>180</td><td>180</td></tr><tr><td>6月</td><td>220</td><td>170</td></tr><tr><td>7月</td><td>200</td><td>160</td></tr><tr><td>8月</td><td>230</td><td>170</td></tr><tr><td>9月</td><td>170</td><td>180</td></tr></tbody></table>			月	2011 (kg)	2022 (kg)	10月	210	180	11月	170	160	12月	190	150	1月	240	190	2月	200	200	3月	180	180	4月	140	200	5月	180	180	6月	220	170	7月	200	160	8月	230	170	9月	170	180
月	2011 (kg)	2022 (kg)																																							
10月	210	180																																							
11月	170	160																																							
12月	190	150																																							
1月	240	190																																							
2月	200	200																																							
3月	180	180																																							
4月	140	200																																							
5月	180	180																																							
6月	220	170																																							
7月	200	160																																							
8月	230	170																																							
9月	170	180																																							
金属くずの削減																																									
数値目標	○	ISO9001による品質管理の徹底で、ミスによるロスが削減できている。次年度も継続して取り組む																																							
・図面の再確認	○																																								
・加工ミスによるロスの削減	○																																								
・工程内検査の確実な実施	○																																								
・最終検査の実施	△																																								
・発注ミス防止	△																																								
・加工ミスのみで発生する重量または損金額の検討	○																																								
塗料シンナー及び酸洗い材の適正管理																																									
		酸洗いに関して適正に管理できました。今後も適正管理に努めます。																																							
・有害性物質の表示の徹底	○																																								
・容器の蓋の徹底	○																																								
・作業ミスによる使用量増加の抑制	○																																								
・手順書の周知徹底	○																																								
・酸洗いの事故ゼロ	○																																								
・塗料・シンナーの作業上の取り扱い（刷毛塗りのみ）	○																																								
水道水の削減																																									
数値目標	×	酸洗い後の水洗いや水張検査で増加となった。水道使用時は今以上に節水するように呼び掛ける。																																							
・節水シールの貼り付け	○																																								
・節水呼びかけ	○																																								
・水張検査時の節水	○																																								
水使用量(m³) ■ 2011 ■ 2022 <table><thead><tr><th>月</th><th>2011 (m³)</th><th>2022 (m³)</th></tr></thead><tbody><tr><td>10月</td><td>55</td><td>45</td></tr><tr><td>11月</td><td>45</td><td>40</td></tr><tr><td>12月</td><td>65</td><td>40</td></tr><tr><td>1月</td><td>45</td><td>40</td></tr><tr><td>2月</td><td>30</td><td>40</td></tr><tr><td>3月</td><td>35</td><td>50</td></tr><tr><td>4月</td><td>40</td><td>45</td></tr><tr><td>5月</td><td>30</td><td>40</td></tr><tr><td>6月</td><td>35</td><td>45</td></tr><tr><td>7月</td><td>60</td><td>45</td></tr><tr><td>8月</td><td>45</td><td>75</td></tr><tr><td>9月</td><td>55</td><td>85</td></tr></tbody></table>			月	2011 (m³)	2022 (m³)	10月	55	45	11月	45	40	12月	65	40	1月	45	40	2月	30	40	3月	35	50	4月	40	45	5月	30	40	6月	35	45	7月	60	45	8月	45	75	9月	55	85
月	2011 (m³)	2022 (m³)																																							
10月	55	45																																							
11月	45	40																																							
12月	65	40																																							
1月	45	40																																							
2月	30	40																																							
3月	35	50																																							
4月	40	45																																							
5月	30	40																																							
6月	35	45																																							
7月	60	45																																							
8月	45	75																																							
9月	55	85																																							

製品への環境配慮・社会貢献		
・納期厳守	○	納期厳守、発注ミス防止はよくできました。次年度も引き続き3S活動を中心に努力していきます。 また、朝に会社付近の道路の清掃を行い少しですが社会貢献に勤めています。今後は社員全員で参加し範囲を広げていく予定です。
・発注ミス防止（回数）	○	
・3S活動	○	
・顧客アンケートからの改善	△	
・近隣清掃	○	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、金属くず（売却）、廃プラ等
騒音・振動規制法	プレス・シャーリング
消防法（危険物）	シンナーの保管
フロン排出抑制法	業務用空調機
労働安全衛生法	溶剤
NOX・PM法	トラック

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情等
今期はありませんでした。

□緊急事態への対応訓練

訓練の様子
2024年5月17日
組合と共同で火災時の消火 避難対応をした
組合会館前に設置されている消火用タンクから
エンジン式ポンプとホースの組立動作の確認のうえ、実際に放水して
消火の段取りを確認
避難経路や集合場所等の確認を行った
弊社からは5人参加し 段取りよく訓練が円滑に終わった
特に問題はありませんでした



訓練の様子

□代表者による全体の評価と見直し・指示

仕事的大幅に増えたことで電気やガソリン使用量が増加となったが、売上当たりでみると改善できている面もあった。人手が足りないこともあり、効率的な仕事の進め方を推進する必要がある。次年度も一層仕事が増えることが予想されるので、一層の効率化に務めていきたい。

変更の必要性

環境方針： ■なし □あり
環境目標・計画： ■なし □あり
実施体制： ■なし □あり